

# 議会報告会

11月14日～23日

を開催しました

## 各常任委員会で関連団体と意見交換会も

- ◆総務企画常任委員会：地域おこし協力隊
- ◆教育民生常任委員会：スポーツ推進委員会
- ◆産業建設常任委員会：商工会



### 【開催状況】

1	11月14日(火) 午後7時 矢又農村活性化施設	5名
2	11月21日(火) 午後7時 三輪自治公民館	4名
3	11月23日(木) 午前10時 小川総合福祉センター すこやか共生館	9名
4	11月23日(木) 午後1時30分 役場 1階多目的活動室	7名
参加者数計		25名
前年参加者数（4回開催）		34名

### 報告1

#### 議会活動について

**質問** 佐藤議員の辞職理由は。選任期間を全うすべきでは。

**回答** 辞職理由についてはプライバシーなこともあるので答えられない。選任期間を全うすることは同感である。

**質問** 30年4月に選挙があり、削減の方向なのになぜ補欠選挙を行ったのか。

**回答** 地方自治法で、定数の6分の1以上が欠けた場合は補欠選挙を行うことと定められている。

### 報告2

#### 平成28年度決算審査 意見の概要について

**質問** 基金が多過ぎるとも指摘されて、交付税の交付方式を変える話が出ているが、どのような見解を持つか。

**回答** 将来の公共施設の管理のために基金を活用する予定である。

### 意見交換1

#### 人口減少対策の具体的な 取組みについて

**質問** 町の総合戦略はスタートして2年経ったが、中間報告は。

**回答** 個別事項については決算時に成果報告を受けている。自主点検の報告書も提出してもらっているが、全体的な内容は確認できていない。

**意見** 後継者対策が人口減少対策となるのではないか。

**意見** 若手ばかり誘い込むのではなく、定年退職者などを重視してはどうか。

**意見** 我が町は林業の町として活動してきたはずなので、それを柱として定住促進すべきでは。



11月14日 矢又農村活性化施設にて

### 子育て支援住宅について

**意見** 働く場所が少ないと発展しにくく、仕事が無いのが一番の問題だ。

**意見** 行政システムが遅れていると実感している。

**意見** 箱物を作れば何とかなると思っているのではないか。

**意見** 弱い立場の人が住みやすいようにすることが大事だ。

**質問** 子育て支援住宅には、どんな人が住めるのか。町内の人だけか。

**回答** 若年人口維持を目的として

おり、町民であれ町外の人でもOKである。

**質問** 住宅の規模はどの程度か。

**回答** まだ決まっていない。

**質問** 民間に入居見込のリサーチを行ったのか。

**回答** 住宅建設調査費の中で検討されると思う。

**質問** どのくらいの戸数ならば大丈夫なのか、議会はリサーチを行ったのか。

**回答** リサーチはしていないが、子育て支援住宅建設の視察を行っている。子ども子育て会議でも、



11月21日 三輪自治公民館にて

子育て世代用の住宅が少ないとの意見も出た。

**質問** 子育て住宅建設が民間業者を圧迫することにならないか。

**回答** 民間業者を圧迫することなく、人口流出防止と人口増につながる子育てに特化した住宅として、インフラを含めて総合的に考えていかなければならない。

### 馬頭高校存続問題について

**質問** 馬頭高校を支援する方向性で動いて欲しい。

**回答** 馬頭高校がなくならないよう、存続のための活動をしている。

**質問** 追加入試実施の陳情が議長預かりになった理由は。

**回答** 議会として要望していくよりも「馬頭高校を考える会」で考えていった方がより効果的ではないかと考えた。

**意見** 下宿する馬頭高校生のための宿泊費を補助するなら、宿舎を考えてみてはいかがか。

**意見** 馬頭高校を支援する方向性で動いて欲しい。

**意見** 学校教育にもっと関心を持って取り組んで欲しい。

### 意見交換2 議会議員の 定数削減について

**質問** 矢祭町10人で、我が町はもっと少なくしても良いのでは。

**回答** 議会改革特別委員会では10名との意見もあったが、議会運営が難しくなるとの判断もあり、13名で落ち着いた。

**意見** 住民の意見を吸い上げる機能が落ちてしまうので定数削減には反対だ。

**意見** 人口が減るから定数が何人とするのではなく、増やすことを考える方向にもってほしい。

### その他の質疑・意見から

**質問** 今までの庁舎は今後どうなるのか。

**回答** 小川庁舎跡地には子育て支援住宅が建設される予定だ。馬頭庁舎はまだ決まっていない。

**意見** 庁舎建設で決めたことは、議会も一致団結して進めてほしい。

**質問** ごみ減量化の取組みはどのようになっているのか。

**回答** 町中心部において生ごみ堆肥化事業が始まっているが、費用対効果を見て、全町に広げるかどうか、どのような問題点があるかなどを検討、検証中である。

**質問** 新橋等整備促進協議会が、行政区を使って署名を集めるのはいかがなものか。

**回答** 議会としては答えかねる。

**質問** 協議会が提案した法線の中には最終処分場があり、搬入路になるのではないのか。

**回答** 東部地区の活性化のためと聞いており、最終処分場への搬入



11月23日 すこやか共生館にて

【広報委員会より】各議員のプロフィールや主義主張は、通常は掲載しませんが、議員改選の際は、紹介記事として掲載を検討したいと思います。



11月23日 役場 多目的活動室にて

地区(すこやか共生館)と馬頭地区(新庁舎)の2カ所で実施すると聞いている。

**質問** 「日本で最も美しい村」の小砂地区をもっとPRすべきだが。

**回答** 町としての登録ではなく、その組織を町がPR利用するには制限があるようだ。

**質問** 次の町議選から、有権者のために選挙公報を発行してはどうか。

**回答** 制度を作るには議会だけでは進められないが、前向きに対応したい。

**意見** 検討しますとか計画しますなど、執行部の対応はスピード感が無い。

### 会場アンケートから

◎議会報告会に参加して

- ・一般参加者が増える対策をとり、大勢の参加を望む。
- ・議員の活動等が良くわかって大変な仕事だと思った。
- ・報告が主なのはわかるが、質疑応答の時間が足りない。

**質問** 納税申告を馬頭・小川の両地区で行えるようにしてもらいたい。

**回答** 新庁舎の完成により、小川

## 常任委員会の意見交換会

各常任委員会では、昨年度に引き続き、関係団体との意見交換会を開催しました。

特定の目的をもった団体のため、深まった意見交換となり、団体の抱える課題や町政への提言要望が出され、各常任委員会としても認識を新たにしました。

### 協力隊の力を糧に

#### 《地域おこし協力隊と》

総務企画常任委員会

11/17

総務企画常任委員会(岩村文郎委員長ほか委員4名)では、那珂川町地域おこし協力隊6名と、地域活性化をテーマとして意見交換を行いました。

▼移住したくても情報がなく、頼る人もいない。遠方から来る相談者には、話をよく聞いてあげてほしい。

▼空き家バンクの情報で、すぐに生活ができる状態の物件かどうかかわかるといい。

▼町として移住に向けた宣伝に力



総務企画常任委員会

を入れてもらいたい。

▼集客には情報発信が必要。

▼特産品を継続していくために、都会から那珂川町に来てもらう戦略にシフトした方がいい。

▼特産品は、各団体や各業種で部署ごと機能ごとで動いており、一つになるような仕組み、仕掛けを作っていけば続くだろう。

▼収益化や強い農業にできていないと感じる。ポテンシャルの高い農業を強くしていけるようにしたいのではないか。

▼協力隊として方向性が見えてくるために2年かかり、じっくり取り組むために5年の期間がほしい。

【広報モニターより】『キラリまちおこし』は、こんなことをしている人達がいるんだというを知ることができてうれしい。

## 運動能力低下が不安

《町スポーツ推進委員会》

教育民生常任委員会

11/27

教育民生常任委員会（益子明美委員長ほか委員4名）では、

那珂川町スポーツ推進委員会森嶋芳夫会長ら14名と、

町のスポーツ振興をテーマとして意見交換を行いました。

▼小学生の運動能力が低下しており、特に走る、投げる能力が低い。  
▼バス通学で歩かなくなり、外での遊びも少なく、学校が部活から離れたなどが要因と考えている。



教育民生常任委員会

▼学校でも指導員を利用してもらい、体育教師との交流や、授業の中にも取り入れてもらいたい。  
▼体力テストの参加者が少なく、通知のし方、周知方法を考えてもらいたい。

▼馬頭運動場の駐車場を拡充整備してほしい。

▼馬頭運動場のトイレは、入口の戸が無く、窓が開放してひどい。

▼小川運動場の北側トイレがなくなつて不便なので、早急に整備してほしい。

▼小川体育館のトイレが古く、洋式トイレにしてもらいたい。

▼まほろばスポーツクラブの運営に、町の協力を願いたい。

▼推進委員として若い人に活動してもらいたい、勤めを持ってもらうと中々出られない。

▼後任の推進委員を現委員が見つめるのではなく、町で見つけてもらいたい。

▼スポーツ振興係3人の職員で何でもこなすのは難しく、増員した方がいい。

▼町民体育祭は、距離的に小川から馬頭まで、馬頭から小川まで行きたくないといったことから参加者が集まらなくなり、小学生の減少で年代別の編成ができないというところなどで中止となった。

## プレミアム付き商品券の継続を

《町商工会》

産業建設常任委員会

12/1

産業建設常任委員会（石田彬良委員長ほか委員4名）では、

那珂川町商工会寛良夫会長ら12名と、商工業振興と地域活性化をテーマとして意見交換を行いました。

### 役場跡地の活用

▼旧馬頭庁舎の隣地も活用して活性化を検討してほしい。

▼旧馬頭庁舎の隣地を購入して広大な場所でイベント等を開催したい。

▼町民の憩いの場所となる複合施設にして、町内外の人を集客できるのではないかと。

▼【委員会】商工会の意見としてまとめてもらったうえで、提言してほしい。

### 商業振興と地域活性化

▼小規模企業振興条例を制定して、補助制度活用など具体的な施策を明確にすることが必要。

▼「町の駅」を設けて、町の駅を中心に道の駅や美術館をつないでいければいい。

▼インターネットを活用した情報発信が必要。

▼商店街の活性化策を考えないとシャッター通りは解消しない。

▼改築費や設備費などの補助で、若者の空き店舗活用支援を。

▼固定資産税の軽減や、1年目70%、2年目50%、3年目30%の753補助を考えてみてはいいかか。

▼デマンドタクシーの乗降場所が自由にならず、使いづらい。

▼市街地の街灯が暗く、明るくしてほしい。

### プレミアム付き商品券

▼町内での使用で地元へ落ち、他市町には無い負担率は好評で評価できる。

▼平成32年度までだが、継続を希望する。



産業建設常任委員会

【広報委員会より】老若男女を問わず、頑張っている方、団体さんを紹介しています。皆さんからも情報をお寄せ下さい。

## 《常任委員会の経過》

### 総務企画常任委員会

開催日 11月13日

内容

税務課長から、固定資産税の前納報奨金及びわがまち特例について、また、小川出張所の場所について、それぞれ説明を受けました。

開催日 12月12日

内容

議会報告会及び意見交換会での質問や意見、要望について検討を行い、また、町長への意見要望書の検討を行いました。

開催日 1月15日

内容

議会報告会及び意見交換会での質問や意見、要望について、2回目の検討を行い、町長への意見要望書の協議を行いました。

### 教育民生常任委員会

開催日 12月14日

内容

議会報告会及び意見交換会での

質問や意見、要望について検討を行い、また、町長への意見書案の検討を行いました。

開催日 12月22日

内容

議会報告会及び意見交換会での質問や意見、要望について、2回目の検討を行い、町長への意見要望書の協議を行いました。

開催日 2月2日

内容

住民課長から、国民健康保険税の県移管に伴う税率改正等について説明を受けました。

### 産業建設常任委員会

開催日 11月21日

内容

商工観光課長から、まほろばキャンプ場指定管理候補者選定結果について、報告及び説明を受けました。

また、町商工会役員との意見交換の内容について、事前の討議を行いました。

開催日 12月12日

内容

議会報告会及び意見交換会での質問や意見、要望について検討を行い、また、町長への意見要望書案の検討を行いました。

## 《特別委員会の経過》

### 議会改革特別委員会

開催日 11月2日(第23回)

内容

議会報告会の開催について、最終確認を行いました。

### 議会改革特別委員会小委員会

開催日 12月6日(第29回)

内容

議会報告会での質問や意見要望の取り扱いについて、討議いたしました。

## 環境保全協定に関して 勉強会を開催しました

開催日 12月12日

内容

産業廃棄物県営最終処分場の建設にあたり、町では県と環境保全協定を締結することになります。

締結は平成30年9月を目途として、町は県と様々な協議を続けています。

議会としては町から提示される協定案に対して、どのような協定内容が適当なのか、そのポイントを勉強するため、藤原寿和氏(廃棄物処分場問題全国ネットワーク共同代表)を講師に、勉強会を開催しました。



環境保全協定に関して傾聴する

【広報モニターより】常任委員会の経過は、「協議・確認しました」だけでなく、結果もほしい。

### 行政視察の報告①

総務企画・産業建設常任委員会合同

・山形県飯豊町の農家民宿事業  
・山形県朝日町の  
ブランド化戦略事業

11月7日と8日の2日間、総務企画常任委員会と産業建設常任委員会の合同行政視察として、山形県飯豊町のなかつかわ農家民宿組合と、同県朝日町のブランド化戦略事業を視察しました。



飯豊町の農家民宿の一つ「いろり」  
左端が「お母さん」の長岡信子さん（組合）

◆飯豊町は、米沢市の西部に位置し、人口7300人（那珂川町の半分以下）で、面積329km<sup>2</sup>（那珂川町の1.7倍）、うち林野が

84%を占める農山村の町です。「日本で最も美しい村」連合にも加盟（平成20年）しています。

農家民宿は、中津川地区で取り組まれており、同地区の過疎化の危機意識から、山村留学の経験を活かして住民独自のむらづくりをしようとして、地域資源を活かしたと

しと農村の交流が始まりました。平成19年に8軒による「なかつかわ農家民宿組合」を設立し、中学生を中心とした教育旅行や、大学生や企業研修、台湾人をメインとした外国人の田舎暮らし体験ツアー（インバウンド事業）など、年間1200人を受け入れています。

地元食材を使った「ありのままのおもてなし」で、「農と食の体験」から農業体験と併せた料理体験を行い、共同作業による本物の体験からコミュニケーションが広がっています。

当町小砂地区を中心とした町内の農家民宿は大田原グリーンツーリズムに加入して行われおり、一層の飛躍を期待するものです。

◆朝日町は、山形県中央部で山形市の西方に位置し、人口7000



朝日町ブランド化戦略の説明を聴く総務企画・産業建設常任委員

人余りで、高齢化率は40%を超えています。当町と同程度の面積で原生林野が76%を占め、最上川が流れ、朝日連峰の大朝日旭岳が立つ磐梯朝日国立公園の農山村の町です。

朝日町のブランド化戦略は、大学生のウサギの着ぐるみに端を発し、町民のアイデアで動く町民主

動の地域振興につながりました。ブランド化戦略では、商品を通して地域にある食材や景観、生活習慣などの生活の場そのものを見える形にしていく「場のブランド化」に取り組んでいます。

信頼でつながる特定の共感者を大切にして、「小さな会社の時代」「かっこいい田舎の時代」を目指し、大手スポーツメーカーとのコラボも実現しています。



スポーツシャツやユニフォームに  
コラボの成果が（areal-japan HP より）

【広報委員会より】いつ何をしたかをお知らせしています。

11月15日と16日の2日間、教育民生常任委員会の行政視察として、長野県小布施町の認定こども園運営事業と美術館等を核とした街並み環境の状況を視察しました。

◆小布施町は、東西6km南北5kmの19km<sup>2</sup>。人口12000人弱で、半径2kmの中にほとんどの集落が収まるコンパクトな町です。

「栗と北斎と花の町」を謳い文句に、六百年の歴史を持つ小布施栗や住民参加の花の町づくり、葛飾北斎や小林一茶などが訪れた文化の薫る町として有名で、町づくりの先進地として名をはせています。

◆第1日目は、北斎館を核として街並み環境を整備し、発展してきた市街地の町づくりを散策により視察しました。

町には多くの美術館が存在し、その中で、北斎館、町の出身者で

ある現代日本画家の中島千波氏の作品が展示されているおぶせミュージアムや北斎を小布施へ招いた江戸末期の豪商の高井鴻山記念館なども見学しました。

◆第2日目は、認定こども園栗ヶ丘幼稚園の運営状況と、子育て支援の拠点施設「エンゼルランドセンター」を視察調査しました。

認定こども園栗ヶ丘幼稚園は、平成28年、栗ヶ丘幼稚園に未満児保育室と調理室を増築し、幼保連携型認定こども園としてスタート

しました。定員は160人。幼稚園から認定こども園に移行したことによる保護者や子ども達の戸惑いなど、環境の変化への園の対応状況や保育料・給食費などの設定状況、職員の確保対策などを調査しました。

エンゼルランドセンターでは、子育て支援センターとしての機能を調査しました。最初は元保育園を活用して始まりましたが、約2億円をかけて改修し、一時保育室、ランチルーム、プレイルーム、ホール、ベビールーム等を兼



年齢に応じた使い分けができる園児用木椅子  
(小布施町認定こども園 栗ヶ丘幼稚園において)



子育て支援センター「エンゼルランドセンター」の  
広いフロア（プレイルーム）

ね備え、延べ床面積552㎡と十分な広さを備えています。  
年末年始以外は毎日、土日祝日も開館しており、町内だけでなく町外や県外からも多数の利用者が会員登録をしています。

センターでは、親子交流の行事などはもちろんのこと、保育士による子育て相談、ファミリーサポート事業や親の就労支援も行っており、子育て支援機能の充実ぶりが利用者の多さに繋がっています。

### 新議場記念セレモニー

#### 馬頭西小学校児童の演奏

12月5日、平成29年第5回定例会に先立ち、議会が新庁舎に移転しての初めての定例会にあたり、新議場記念セレモニーとして、新議場において、馬頭西小学校児童による合奏「前前世」と校歌合唱が行われました。

児童の素晴らしい演奏に、議長は、「みんなで助け合い、励まし合い、協力し合いながら合奏する



アニメ映画「君の名は。」の主題歌「前前世」を演奏する  
馬頭西小学校児童

という目標に向かつて練習を積み重ねてきたからこそ、素晴らしい演奏になったのだと思う。」などと、賞賛と挨拶とお礼の言葉を述べ、また、「我々議員一同、この新しい議場に負けぬよう、議員としての自覚、品格、責任をもって、町民の模範となるよう、自らを律していきたい。今日の馬頭西小学校児童の姿をお手本に、那珂川町発展のため、一層頑張っていきたい。」と挨拶しました。

最後に、児童代表に記念品を贈呈して、セレモニーは終了しました。

議会のつぎと内容

平成29年  
11月

- 2日 議会広報特別委員会 (第20回、第49号発行)
- 2日 議会広報モニター懇談会
- 2日 議会改革特別委員会 (第23回)
- 6日 議会運営委員会 (11月臨時会)
- 7日～8日 総務企画常任委員会・産業建設常任委員会合同行政視察
- 9日 埼玉県川島町議会議会運営委員会行政視察来町
- 10日 議会だより第49号発行
- 13日 平成29年第4回議会臨時会
- 13日 総務企画常任委員会
- 14日 議会運営委員会
- 14日 議会報告会(第1回) (矢又農村活性化施設)
- 15日～16日 教育民生常任委員会行政視察
- 17日 栃木県町村議会議長議員研修 (宇都宮市)
- 17日 総務企画常任委員会意見交換会(地域おこし協力隊)
- 21日 産業建設常任委員会
- 21日 議会報告会(第2回) (三輪自治公民館)
- 23日 議会報告会(第3回) (すこやか共生館)
- 23日 議会報告会(第4回) (役場)
- 27日 全員協議会
- 27日 教育民生常任委員会意見交換会(スポーツ推進委員会)
- 28日 議会運営委員会 (12月定例会)

12月

- 1日 産業建設常任委員会意見交換会(商工会)
- 5日 新議場記念セレモニー (議場)
- 5日～6日 平成29年第5回議会定例会
- 6日 議会改革特別委員会小委員会 (第29回)
- 12日 環境保全協定に関する勉強会
- 12日 総務企画常任委員会
- 12日 産業建設常任委員会
- 14日 教育民生常任委員会
- 22日 議会広報特別委員会 (第21回、第50号発行)
- 22日 教育民生常任委員会

平成30年  
1月

- 15日 総務企画常任委員会
- 23日 議会広報特別委員会 (第22回、第50号発行)
- 29日 鹿沼市議会新庁舎整備検討特別委員行政視察来町

2月

- 2日 議会広報特別委員会 (第23回、第50号発行)
- 2日 教育民生常任委員会
- 10日 議会だより第50号発行

【広報委員会より】誤解を招く、品位を損ねる、信頼を揺るがす、こういった内容とならないよう委員一同肝に銘じます。

浄法寺 大日堂鐘撞  
世話役 増子育男さん  
(浄法寺)



なかちゃんが聞きました。

Q 大日堂は誰が管理しているの？

A この寺は住職がいないから、浄法寺全世帯約80戸の檀信徒で構成する地元自治会で管理しているよ。

Q この鐘はいつからあるの？

A 初代の梵鐘は1686年(貞享4年)なんだよ。2代目が昭和30年で、今の梵鐘は平成18年に寄進されて3代目だよ。

Q 300年以上だね。誰が撞いているの？

A 現在は、地元の中学生と伴和郎さん、穴山國雄さんの3人で、1週間交代で毎朝撞いているんだよ。

Q いつも何時に撞いているの？

A 毎朝6時だけど、冬は6時半に撞いているよ。

Q 鐘を撞く回数が増えて決まっているの？

A 毎日6回撞いているよ。地域の人に1日の始まりをお知らせするんだ。「良い一日になりますように」と願いを込めて撞いています。

Q ありがたいね。中学生も鐘撞きをしているんだね。

A 昭和50年に当時の町長が鐘撞きを始め、その後、私が約1年半鐘を撞いていたけど、昭和52年から地元の中学1年生が、3年間毎朝鐘を撞くようになったんだ。高校進学に合わせて、次の中学1年生に引き継ぐようになってから中学生の鐘撞きが始まったんだ。



左から13代阿久津聖天君(中3)、14代小林寛明君(中1)、穴山國雄さん、伴和郎さん



今年から引き継いだ小林君

Q 毎朝なんてすごいね。今も中学生が撞いているの？

A 平成24年からの3年間は私と地元住民の3人で1週間交代で撞いていたけど、平成27年から13代目の阿久津聖天君が引き継いでくれて、今年から14代目の小林寛明君が引き継いでくれたんだ。

Q 中学生が14代も続いているなんて凄くいい！

A 子供たちは鐘撞きの引継ぎを快く引き受けてくれて、雨の日も風の日も寒い日も毎朝、鐘を撞き続けてくれたことに心から感謝しています。

Q 伝統ある浄法寺大日堂の鐘撞きだから、いつまでも続けてほしいね。

A 地元の子供が少なくなつて厳しいけど、中学生の引継ぎが途絶えても地元の人達で守り続けていきたいと思えます。

### 議会を傍聴しませんか

皆さんの身近な問題などが審議されます。あなたも一度傍聴してみませんか。

次の定例会は、3月6日開会  
(平成30年第1回議会定例会)の予定です。  
議場は、新庁舎2階です。

ケーブルテレビ(11ch)で議会が生中継されます。

### 編集後記

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には、新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。2018年が平和で安全な年となり、地方創生を町民と共に考え実行していく年にしたいものです。

今年4月に、町議会議員の任期満了に伴う選挙が予定されています。今回の選挙から現在の定数15名から13名に削減になります。

現在の広報委員で発行する議会だよりは、今回で最後の発行となります。多くの町民の皆様にご覧いただき、ありがとうございます。この4年間試行錯誤を繰り返して、活発な話し合いを重ねながら今日に至りました。

まだまだ課題はありますが、5月から新しい広報委員会のメンバーに託したいと思います。

この4年間、ご愛読を賜りありがとうございました。

議会広報特別委員会

鈴木 繁

### 表紙写真 太子祭(商工会)

商工会建設業部会では、毎年の仕事始めとして、一年間の無事を祈願する太子祭を行っています。装束に身を纏った古式ゆかしい儀式は一見の価値があります。

太子祭(太子講)は、聖徳太子を「木工の守護神」として祀る信仰で、曲尺(指矩とも)がシンボルとされています。

### 第4回11月臨時会の 議会傍聴者数

13日 2人

5日 14人  
6日 3人

### 第5回12月定例会の 議会傍聴者数